

平成30年1月定例記者会見要旨（平成29年12月27日開催）

## 1. 今年一年の坂出市政を振り返り、印象に残る事柄と来年特に力を入れる取り組み

本年は、市制施行75周年という記念すべき年であったことから、先人たちがこれまで築いてきた歴史を市民のみなさまと共に振り返るとともに、多くのかたのご参加・ご協力をいただき5年ぶりに開催した「さかいで港まつり」をはじめとするさまざまな記念事業を開催したところである。その中でも坂出市にゆかりのある崇徳上皇が登場する能楽公演「松山天狗」を、題材の地である青海神社で開催できたことが特に印象に残る。

来年は、市民のみなさま一人一人が健やかに幸せになれるよう「健幸」をテーマに打ち出したので、全庁的な体制で取り組みたい。

## 2. 瀬戸大橋は来年、開通30周年を迎える。節目に合わせた事業やイベントはどのようなものを考えているか

瀬戸大橋開通30周年に向けて、香川県、岡山県および本四高速では、記念式典などを実施するほか花火大会などの記念事業も開催される。本市では、来年のさかいで大橋まつりを開通30周年記念協賛事業として開催、大橋記念図書館では「瀬戸大橋工事写真展」などの新規事業も予定している。

同じく姉妹都市提携30周年となる米国サウスリート市とは姉妹都市提携記念事業を開催する。訪問団を迎えての記念式典・祝賀会を開催するほか、サウスリート市小学生の修学旅行を受け入れ、市内の小学生らとの交流も予定している。

今後サウスリート市とは市内の子どもたちの英語教育や国際交流のための行事などで、さらに親睦を深め、新たなリレーションシップを築いていきたい。